

授業科目名： 体育史	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名： 綿貫慶徳 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）		
「学位授与の方針」との関係 DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 (1) 近代社会を中心として、体育・スポーツの歴史的展開を学んでいく。 (2) 日本の近代体育・スポーツに影響を及ぼした西欧における体育・スポーツ事情を理解する。 (3) 学校体育における兵式体操導入のねらいを理解する。			
授業の概要 古代から近代にかけての西欧における体育・スポーツの歴史的展開、ならびに、それが日本の近代体育・スポーツに及ぼした影響を学習の柱に据えて、体育・スポーツの通史を概観していく。通史の理解を踏まえたうえで、戦前・戦中・戦後の各期における日本の体育・スポーツの特徴と相違に関する見識を深めていく。			
授業計画 第1回：体育史の対象と研究領域 第2回：体育・スポーツの起源と発展 第3回：古代の娯楽とスポーツ 第4回：古典古代の競技と体操 第5回：中世のスポーツ・身体修練 第6回：近世の体育・スポーツ 第7回：近代体育の源流 第8回：近代体育の成立と展開（1）近代市民体育理論の形成 第9回：近代体育の成立と展開（2）国民体育の成立と展開 第10回：近代スポーツの成立と展開 第11回：戦前期における日本の体育・スポーツの特徴 第12回：戦中期における日本の体育・スポーツの特徴 第13回：戦後期における日本の体育・スポーツの特徴 第14回：現代体育の源流 第15回：新しいスポーツ運動の展開 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト 岸野雄三（1984）『体育史講義』大修館書店、4-469-26101-7 木村吉次（2015）『体育・スポーツ史概論』市村出版、978-4-902109-39-9			
参考書・参考資料等 中村敏雄（2015）『21世紀スポーツ大事典』大修館書店、9784469062359			
学生に対する評価 レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			